

## 京都鞍馬口医療センター地域連絡協議会 議事概要

- 日 時 平成 30 年 3 月 8 日 (木) 14 : 00 ~ 14 : 40
- 場 所 5 階講堂
- 議 題
- 1.院長挨拶
  - 2.当院における診療体制並びに地域医療連携の現状について
  - 3.訪問看護ステーションの運営状況について
  - 4.医療福祉相談室の紹介
  - 5.京都鞍馬口医療センターへの意見及び要望について
  - 6.その他

- 出席者
- ・地域連絡協議会委員 (敬称略)
    - 上京東部医師会理事 小林雅夫
    - 北区役所健康福祉部健康長寿推進課担当課長 牧野敦子
    - 紫明社会福祉協議会会長 柴山泰朗
    - 病院利用者代表 山田友恵
  - ・京都鞍馬口医療センター委員
    - 院長 島崎千尋
    - 副院長 柴 禄郎
    - 事務部長 林 卓男
    - 看護部長 濱道千鶴代
    - 副看護部長 久門容子
    - 主任医療社会事業専門員 森山あゆみ
  - ・庶務
    - 総務企画課長 白倉直樹

### 会議内容

#### 1.院長挨拶

超高齢化社会を向かえ、地域包括ケアシステムで対応していくとともに、平成26年4月からJCHOグループの一病院となり、地域包括ケアの要として機能するという使命のもと、地域医療に携わっております。本日は忌憚のないご意見をお聞きしたい。

## 2. 当院における診療体制並びに地域医療連携の現状について

島崎院長より、資料を用いて説明。

## 3. 訪問看護ステーションの運営状況について

(久門) 平成27年10月に訪問看護ステーションを立ち上げ、平成29年度の利用者は747人(前年度698人)と年々増加している。新規利用者も28人増えている。訪問看護件数も平成29年度は3,559件(前年度3,278件)と増加。

## 4. 医療福祉相談室の紹介

(森山) 「社会福祉の立場から患者の抱える経済的、心理的、社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る」ことが医療ソーシャルワーカーの業務指針となっている。当院では4名の医療ソーシャルワーカーにより、年間8,000件の相談にあたっている。相談内容は約7割が退院支援となっている。ただの相談者ではなく、生活を支える専門職でありたいと思っています。「地域包括ケア」の時代においては、後方支援事業が重要であり、地域、関係機関との連携が不可欠であると感じています。また、「医療福祉相談室」であるとともに、「がん相談支援室」や「患者相談窓口」でもあります。

## 5. 京都鞍馬口医療センターへの意見及び要望について

(柴山) いつもお世話になります。70年の歴史があり、健全で地域に根ざした病院として今後もよろしくお願ひします。近隣の住民からは全体の評価は非常に高いものがあります。紫明学区、元町学区の住民はたいへん頼りにしております。良い形で継続していただきたい。お聞きした医療ソーシャルワーカーによる業務については、もっと広報されたらよいと感じました。市民公開講座の広報等のお手伝いもしておりますので、何かお手伝いできることがあれば協力させていただきたい。

(小林) 最近、いろいろな開業医から患者の受け入れがよくなったと聞きます。努力されている感があります。開業医として、患者の送り先がないのが一番困る。今後ともよろしくお願ひしたい。

(牧野) 今回から、前任者松村から交代いたしました。北区役所としても密な連携をしていきたいと思っております。医療ソーシャルワーカーの退院援助が7割とお聞きしましたが、退院先はどちらが多いですか。

(森山) 在宅と在宅でない方、およそ5:5です。4、5年前からこのような傾向にあり、その前は他機関へ行かれる方が多かったです。最近、自宅に帰る方が増えてきている。

(院長) 「在宅で診ていく」という国の方針もある。

(山田) 市民公開講座に参加される方も毎回増えてきている感じがする。高齢者向けの演題も考えていただいている。私も、入院の際には医療ソーシャルワーカーにお世話に

なった。退院後もお声をかけていただき、たいへんありがたく思っている。医療福祉相談室がやや狭い感があります。

( 林 ) スペースの問題等もあり、現在検討しているところ。

( 柴山 ) 市民公開講座も今回で56回目と聞いた。継続されることは素晴らしいと思います。今後も是非継続していただきたい。

( 山田 ) 患者同士での話の中で、「食堂がなくなり不便」とか「売店が少し手狭」という意見をよく聞きます。

## 6.閉会の挨拶

( 柴 ) たいへん貴重なご意見をいただきありがとうございました。市民公開講座についてはさらに充実し、継続していきたい。また、医療ソーシャルワーカーについても広く広報をしていきたい。当院は、医療安全、感染対策についても水準を上回っていると思います。安心してご利用いただけるようにさらに研鑽を積みたい。また、訪問看護ステーションにおいてもより充実していきたい。